

2025年度 URC 総合研究 報告書 『ゼロカーボンシティ福岡へ向けた行動変容に関する研究II』発行

1. 概要

本研究では、脱炭素化に向けた行動がどのように生まれ、どのように広がっていくのかに着目し、市民の身近な工夫や周囲とのつながり、企業が協力しながら取り組みを進める動きなど、地域で育ちつつある多様な実践を丁寧にたどりました。気候変動の影響が身近に感じられるようになった今、個人の行動と社会の仕組みをどのように結びつけていくかが問われています。本報告書では、市民と企業の取り組みから得られた知見を整理し、福岡市がゼロカーボンシティを実現するための具体的な手がかりを示しています。



レポート全文はこちら→

<https://urc.or.jp/report/publications/2025sougou-dc/>

2. 主なポイント

- 【市民】 ● 学生期では主体的行動選択の制限に伴う**行動効果の理解不足**、子育て期では**安全性や時間効率性**の優先、現役就労期では**費用対効果**を基準とした合理的判断、シニア期では**資源を大切に**に扱う価値観が行動選択に影響しているなど、**ライフステージ**毎の特徴を分析
- 若年層への訴求には、**視覚的魅力**、**行動効果の可視化**、**ストーリー性**、**デジタル技術との親和性**などを取り入れることが有効
- 【企業】 ● 商業施設等の軟質プラスチック**共同回収・再資源化の意見交換会**を通じて、インセンティブ形成や制度設計による環境整備の重要性が明らかに
- 脱炭素行動を促すには、**制度の共通化**や**役割分担の明確化**、**同業者間の協働**、行政や第三者機関の関与による**対話の場づくり**など、連携の枠組みが必要（「点」から「面」の取り組みへ）

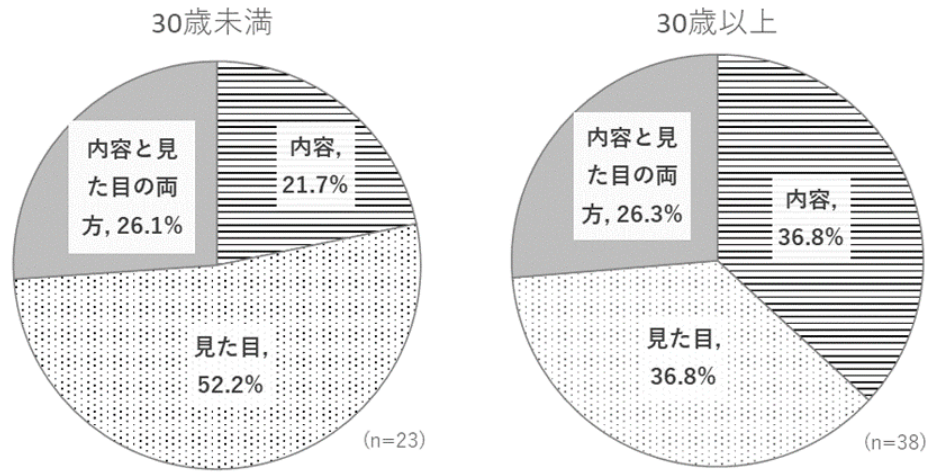
□URCのWEBサイトにて、報告書PDFを**無料公開**しています。 <https://urc.or.jp/>

□「(公財)福岡アジア都市研究所(URC)」と出典を明示すれば、報道や調査研究での引用が可能です。
(著作権が第三者に帰属するコンテンツを除く)

公益財団法人福岡アジア都市研究所 担当:山田
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-8-1 博多区役所 10 階
TEL: 092-710-6431 FAX: 092-710-6433 Mail: info@urc.or.jp



市民 気に入ったポスターに関心をもった点(2025年12月「若者に脱炭素行動を促すために学生が考えた啓発ポスター展」来場者アンケートより)



出所：福岡アジア都市研究所「ゼロカーボンシティ福岡へ向けた行動変容に関する研究 II」(2026年3月) p.60

企業 企業連携に向けた複数ステークホルダー間の意見交換会



分別ワークショップで使用した混合資源



パタゴニア福岡での意見交換会の様子

出所：福岡アジア都市研究所「ゼロカーボンシティ福岡へ向けた行動変容に関する研究 II」(2026年3月) p.95